バングラデシュでまた火災が! - 西日本防災システム

2013 01 26

1月26日バングラデシュの衣料品工場で火災が発生し、女性従業員7人がお亡くなりになったようです。

バングラデシュの警察によりますと、首都ダッカ市内の衣料品工場で26日午後、火災が発生し、 女性従業員7人が遺体で発見されたようです。ダッカ近郊では昨年12月にも衣料品工場で火災が 発生し100人以上の死者が出る惨事となったばかりです。

警察幹部によりますと、今回死亡した7人は火災発生時、逃げようとする従業員らの下敷きになったり、2階から飛び降りたりして死亡したそうです。さらに十数人が負傷して病院に収容された情報もあります。

火災は2階建ての工場の1階部分で発生し、短時間のうちに2階に広がったそうです。2階で作業をしていた女性ら数百人が外へ逃げようと階段に一気に殺到しました。しかし、たどり着いた先の1階入り口は施錠されていたといいます。

消防当局の責任者が記者団に語ったところによりますと、工場は従業員数300人余りで不法建築のため非常口がなかったようです。? 負傷した従業員のひとりは、「工場には火災報知機が設置されていなかった」とも話しているそうです。

警察は工場経営者の刑事責任を追及する構えのようです。

昨年12月にはダッカ近郊で、100人以上が死亡するという衣料品工場として史上最悪の火災が発生しました。出火当日には米議会の代表団が、衣料品製造現場の安全対策を調査するため同市を訪れていたところでした。

バングラデシュでは衣料品が年間輸出額の80%以上を占め、国内に約4500件の工場があるそうです。

みんなが安心して働くことが出来る安全な環境を作ることが急務のようですね! 御冥福をお祈りいたしております。



